



# 現代GP >>> Good Practice Newsletter

2004年12月

No.1

発行 日本福祉大学現代GP推進室

文部科学省の

『現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)』に本学のプログラム、

## 「知多広域圏活性化に向けた学生の地域参加」

——— 学部の実践型教育の強化を通じて ———

が採択されました。

経済学部を先頭に全学部あげて  
『現代GP』を推進します

現代GP：「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」とは、平成16年度の文部科学省施策で、各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学等から応募された取組の中から、特に優れた教育プロジェクト(取組)を選定し、財政支援を行うことで、高等教育の更なる活性化が促進されることを目的とするものです。

### ご挨拶 地域とともに歩む大学

中部国際空港の開港を間近に控えた知多地域の5市5町では、「中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画」の策定をはじめ、知多地域の新たな発展の道を探る取組が進められています。日本福祉大学は、地域との共生・共創を目指して、これまでも15年余にわたる知多半島総合研究所の活動をはじめとして、地域の活性化のために積極的に参加、協力する姿勢を大切にしてきました。今回現代GPに採択されたことを契機に、これまでの取組みをさらに強化するとともに、新しい時代の大学教育のあり方を探る試みの一つとして、学生参加による実践型の教育を知多全域で多面的に展開し、地域のニーズに積極的に応えていきたいと考えます。地域の皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

日本福祉大学 学長 宮田 和明

現代GPプログラム統括責任者

日本福祉大学 副学長 加藤 幸雄

現代GPプログラム推進責任者

日本福祉大学 経済学部長 三輪 憲次



美浜キャンパス  
上空より  
中部国際空港と  
伊勢湾を望む

### 自治体、経済団体、市民団体の皆さまへ

本学のプログラムではさまざまな地域連携の教育活動をすすめています。現在2005年度の活動計画について検討しており、協力していただけるパートナー組織、団体を募集していますので、ご意見・ご希望を現代GP推進室までご連絡下さい。

### ご案内

#### Contents

「現代GPとは」、「学長、副学長、学部長メッセージ」…………… 1	事例紹介1：地域商工業振興プロジェクト…………… 5
取組の基本的な目的、地域連携の概念…………… 2	事例紹介2：海の文化とものづくりプロジェクト…………… 6
5つの基本テーマ…………… 3	事例紹介3：蔵の街プロジェクト…………… 7
2004年度のプロジェクト紹介…………… 4	魅力ある知多半島と知多半島総合研究所…………… 8